公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 2026年度 基本方針	
社会基盤構築委員会　委員長　藤井　康裕	
現状把握	茨城県では、少子高齢化による生産年齢人口の減少が想定を超えるスピードで進み、労働力不足が深刻化しています。静置すれば地域経済が停滞する恐れがある一方で、経済活動を優先するだけでは自然環境に悪影響を及ぼしかねず、地域の経済的主体が手を取り合い、経済、社会、環境が調和の保たれた社会基盤をつくりあげることが課題とされています。
委員会 設置背景	地域の経済、社会、環境などの社会資本を強化し、社会全体の環境や機能維持及び経済発展を促進する必要があります。
委員会 概要	1.衆議院選挙の公開討論会の開催支援
	国全体の社会をより理想的な社会の発展につなげるために、衆議院選挙における公開討論会の開催支援を行うことで、政策の理解や知見を拡げ、社会に対する責任意識を高めます。
	2. 市町村長選挙の公開討論会の開催支援
	有権者の選挙投票の質的向上と、候補者の政策やビジョンを拡げるために、市町村選挙における公開討論会の開催支援を行うことで、投票率の向上及び政治への関心や主権者意識の喚起を促します。
	3. 地域経済の担い手をつなぐ結節点となり、地域で主体的に経済課題に取り組む事業
	地域の経済的主体が協同し、主体的に経済課題に取り組む体制を築くために、関係各所が提携や協業のできる仕組みを構築し、経済活動を支援することで、課題解決に対する可能性を見出し、持続的な経済発展を促します。
	4.【ブロ連】日常から始めるカーボンニュートラル推進事業
	環境と経済の両立を実現するために、カーボンニュートラル推進事業を市民に伝播することで、各世帯に身近な自然環境問題に対する危機感が生まれ、意識改革及び行動を促進し持続可能な運動づくりを目指します。
委員会による LOM支援の 実施内容	・公開討論会の開催支援を行うことで、開催の手立てや方法が進展し、円滑かつ有効的な運用を助長します。 ・各LOMメンバーと関係各所をつなげる事業を行うことで、課題解決の適用範囲の拡張及び組織の発展を促します。 ・カーボンニュートラル推進事業を市民に伝播することで、自然環境問題の改善を促し、各LOMの環境に関する運動の一助となります。
1年間の成果	私たちを含め、各地域のLOM及び市民、関係各所が課題解決における活動のしやすい仕組みが整っており、また、出向メンバーが関係各所との結節点となる人財へ昇華している状態。